

JTU-HYOGO
兵庫高等学校教職員組合
日本教職員組合(日教組)

兵高教新聞

裏面紹介

- ◇ 青年部総会・学習会案内
- ◇ 各種シンポジウム案内 他

神戸市中央区中山手通 4-10-5 神戸市教育会館内 TEL078-261-0829 FAX078-261-1094 E-mail:hyokokyo@pearl.ocn.ne.jp 発行人：西村恭介 編集：兵高教書記局

10/3 県教委

2022年度高等学校進学希望者数等調査の結果公表

＝国公立中学校卒業予定者数、前年度比 116 人増/県内全日制公立高校志望者数は517人減＝

1 進学希望等の状況

単位：人(%)

区分	令和5年度	令和4年度	令和4年度との差		
国公立中学校卒業予定者数	44,121 (100.0)	44,005 (100.0)	+116 (-)		
高等学校進学希望者数	43,730 (99.1)	43,691 (99.3)	+39 (Δ0.2)		
県内	公立高校	全日制	35,591 (80.7)	36,108 (82.1)	Δ517 (Δ1.4)
		定時制・多部制	848 (1.9)	799 (1.8)	+49 (+0.1)
		通信制	154 (0.3)	147 (0.3)	+7 (±0.0)
	計	36,593 (82.9)	37,054 (84.2)	Δ461 (Δ1.3)	
私立高校(全日制)	2,183 (4.9)	2,067 (4.7)	+116 (+0.2)		
高等専門学校	654 (1.5)	640 (1.5)	+14 (±0.0)		
特別支援学校高等部	558 (1.3)	530 (1.2)	+28 (+0.1)		
計	39,988 (90.6)	40,291 (91.6)	Δ303 (Δ1.0)		
県外	国公立高校(全日制)	251 (0.6)	297 (0.7)	Δ46 (Δ0.1)	
	私立高校(全日制)	1,195 (2.7)	1,141 (2.6)	+54 (+0.1)	
	公立通信制高校	10 (0.0)	21 (0.0)	Δ11 (±0.0)	
	その他	90 (0.2)	82 (0.2)	+8 (±0.0)	
計	1,546 (3.5)	1,541 (3.5)	+5 (±0.0)		
広域通信	県内に本校を置く高校	192 (0.4)	166 (0.4)	+26 (±0.0)	
	県外に本校を置く高校	1,163 (2.6)	1,002 (2.3)	+161 (+0.3)	
計	1,355 (3.1)	1,168 (2.7)	+187 (+0.4)		
進学先未定	841 (1.9)	691 (1.6)	+150 (+0.3)		
専修学校等	137 (0.3)	121 (0.3)	+16 (±0.0)		
就職	72 (0.2)	63 (0.1)	+9 (+0.1)		
進路未定	182 (0.4)	130 (0.3)	+52 (+0.1)		

- 注1 各年度の数値は、いずれも、前年の9月1日現在のものである(以下同じ)。
- 2 ()書きは国公立中学校卒業予定者数全体に占める割合である(以下同じ)。
- 3 県外の「その他」は、定時制高校、高等専門学校、特別支援学校高等部である。
- 4 「専修学校等」は、専修学校・各種学校・公共職業訓練施設である。
- 5 表中の割合は、四捨五入の関係で必ずしも100%にはならない。

県教委記者発表資料より

10月3日、兵庫県教育委員会は9月1日現在で実施した「令和5年度高等学校進学希望者数等調査」の結果を公表しました。

調査結果によると、今年度末の国公立中学校卒業予定者数は44,121人と昨年度と比べて116人増となっており、高等学校進学希望者数も39人増加しています。現時点での定時制・多部制(県内)への進学希望者は848人と昨年より49人増加し、通信制への進学希望者も県内公立154人(昨年同期比7人増)、広域通信制へは1,355人(昨年同期比187人増)と昨年をさらに上回る状態です。

調査結果によると、今年度末の国公立中学校卒業予定者数は44,121人と昨年度と比べて116人増となっており、高等学校進学希望者数も39人増加しています。現時点での定時制・多部制(県内)への進学希望者は848人と昨年より49人増加し、通信制への進学希望者も県内公立154人(昨年同期比7人増)、広域通信制へは1,355人(昨年同期比187人増)と昨年をさらに上回る状態です。

調査結果によると、今年度末の国公立中学校卒業予定者数は44,121人と昨年度と比べて116人増となっており、高等学校進学希望者数も39人増加しています。現時点での定時制・多部制(県内)への進学希望者は848人と昨年より49人増加し、通信制への進学希望者も県内公立154人(昨年同期比7人増)、広域通信制へは1,355人(昨年同期比187人増)と昨年をさらに上回る状態です。

調査結果によると、今年度末の国公立中学校卒業予定者数は44,121人と昨年度と比べて116人増となっており、高等学校進学希望者数も39人増加しています。現時点での定時制・多部制(県内)への進学希望者は848人と昨年より49人増加し、通信制への進学希望者も県内公立154人(昨年同期比7人増)、広域通信制へは1,355人(昨年同期比187人増)と昨年をさらに上回る状態です。

とりわけ、定時制・多部制・通信制の学級数拡充が重要であることは、今回の調査結果からも明らかです。また、広域通信制進学希望者が年々増加の一途をたどっていることについて、その背景を分析し、多様な生徒の学びに対応できる、インクルーシブな学校づくりにさらに進めていくとくみも必要です。

新型コロナウイルス感染症拡大の長期化に加え、緊迫する国際情勢の影響や急激な円安により諸物価が高騰する中、家計状況の悪化等子どもたちをとりまく状況は従来以上に厳しさを増しています。兵高教は兵高教組と連携を取りながら、子どもたちの豊かな学びを保障する観点に立ち、高校教育改革の進捗状況や各学区の抱える課題解決を基本に据え、全体的・中長期的な視野に立つてとりくみをすすめていきます。

兵庫県公立学校教員採用候補者選考試験合格者のみなさま、おめでとうございます!

★兵高教臨採者組合員(採用試験対策講座参加者)の2次試験合格率は90%以上(2022~23年度平均)。1次試験を突破し、面接・模擬授業練習会に参加したみなさんはほぼ合格されています!!

採用試験対策は兵高教にご相談ください♪



兵庫高等学校教職員組合(兵高教)は、《JTU日教組》加盟の組合で、1989年に設立しました。
※「兵庫高教組」「兵高教組」「高教組」(兵庫県高等学校教職員組合)とは、関係ありません。

2022年度青年部職場実態調査

日教組は、職場からの運動を活性化させるため、多くの青年組合員が自らの職場実態を振り返り、職場の仲間と課題を議論する資料や交渉の材料とするため、上記調査を行います。

調査へのご協力をお願いします。職場のなかまにもぜひ呼びかけてください(組合員以外でも回答していただけます)。

右の二次元バーコードを読み取るか、下記URLより回答フォームに入力してください。



<https://forms.office.com/r/hYgesPiS8E>

調査期間：11月7日(月)まで

2022年度 兵高教

青年部総会・第2回学習会

第1部 2022年度青年部総会
第2部 第2回青年部学習会

採用試験を振り返って/日々の授業づくり/今日の教育課題 他

10.29(土) 14:00~16:30

神戸市教育会館5階

日ごろ感じている職場の課題や子どもたちをとりまく現状などを持ち寄り、交流・学習を深めましょう。
終了後、懇親会も予定しています(場所未定)。

各種シンポジウムのご案内

◆教育改革全国キャンペーン中央集会 2022

「こども基本法に期待すること

～子どもが主役になる社会の実現に向けて～

とき：11月5日(土) 13:00~15:20

形態：You Tube LIVEによる限定配信(Web)

※録画映像を編集し、毎日メディアカフェYouTubeチャンネルに後日掲載予定

内容：

①基調講演

谷口真由美さん(大阪芸術大学・佐賀女子短期大学)

②パネルディスカッション

ファシリテーター：斗ヶ沢秀俊さん(毎日新聞)

パネリスト：谷口真由美さん、「こども家庭庁」準備室、保護者、子ども

イベント内容・登壇者(毎日メディアカフェWebサイトより引用)

「こども家庭庁」の設置関連法が、2022年6月の参院本会議で可決・成立し、2023年4月1日に発足します。併せて、子どもの権利の保障を明記した「こども基本法案」も2023年4月1日に公布されます。日本では児童虐待通報が急増し、いじめ、自殺、不登校の深刻化、ヤングケアラーなど、子どもが生きづらい状況になっています。

シンポジウムでは、子どもを権利の主体とする国際条約である「子どもの権利条約」はこども基本法にどのように反映されるのか、基本法がどのようなものであるべきなのか、基本法、こども家庭庁に期待することなどを法学者の谷口真由美さんが話した後、谷口さんと、保護者の神谷真紀さん、内閣官房こども家庭庁設立準備室担当者、4月に開催した毎日メディアカフェ子どもシンポジウムに参加した学生が「子どもが主役になる社会の実現に向けて」をテーマに語り合います。

主催：毎日新聞、毎日メディアカフェ

協力：日本教職員組合、子どもの人権連ほか

◆第41回高校教育シンポジウム

☆全国の高校のなかまとともに、学校・地域の実態に基づいたカリキュラムづくりや現場からの高校改革、インクルーシブな高校づくりなどの課題解決に向けて協議し、学び、考えを深める貴重な機会です。

とき：11月5日(土) 13:00~17:00

形態：「Zoom」によるWeb集会

内容：

①基調報告

②シンポジウム「高校発インクルーシブな学校づくり」

参加者：平野智之さん(追手門学院大学)

中田正敏さん(神奈川県高等学校教育会館教育研究所)

生駒俊樹さん(京都芸術大学)

木村泰子さん(元大阪市立大空小学校校長)

コーディネーター：澤田稔さん(上智大学)

③分科会

第1分科会「新学習指導要領、カリキュラム編成、観点別評価」

《報告》沖縄高「新学習指導要領と観点別評価の現状と課題」(仮)

共同研究者：澤田稔さん(上智大学)

第2分科会「高校再編、高校入試改革、大学入試改革」

《報告》大阪「大阪の再編整備の状況について」

共同研究者：本間正吾さん(神奈川県高等学校教育会館教育研究所)

第3分科会「定時制・通信制教育」

《報告》熊本高

『「定時制・通信制高等学校生活実態白書」からみえてくる課題』

共同研究者：生駒俊樹さん(京都芸術大学)

★各分科会とも「学校の現状ととりくみ交流」を行うとともに、「インクルーシブな学校づくり」をテーマに協議を行います。

◎参加を希望される方、詳しく説明を聞いてみたいという方は、電話かメールで書記局までご連絡ください。女性・青年層の参加を歓迎します。いずれもWeb開催ですので、ご自宅から参加可能です。 ※参加申し込みは10月25日(火)までをお願いします。

兵高教は、子どもたちの学びと教職員の生活に関わる情報を、迅速かつ正確にお届けします。